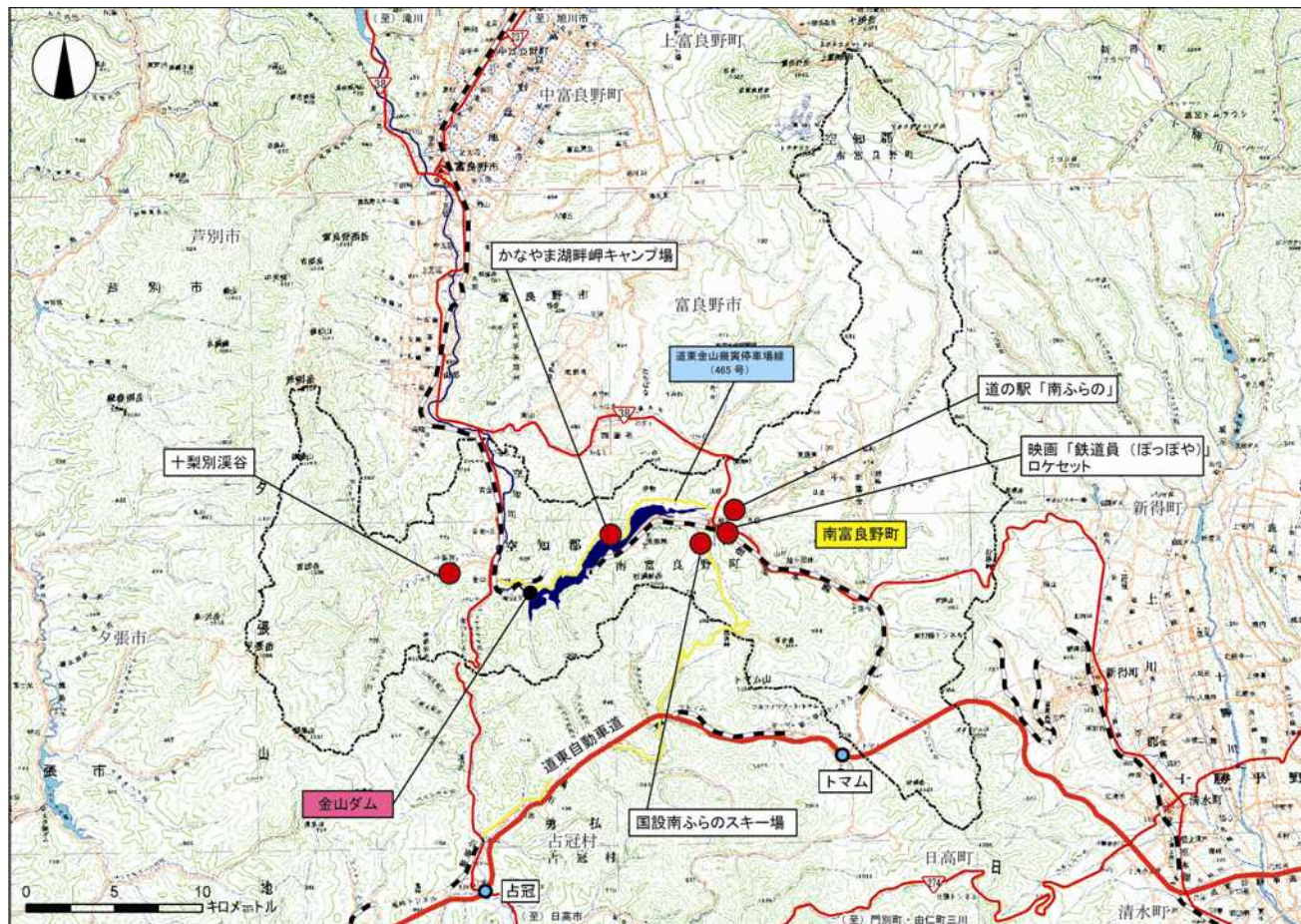


## 7. 水源地域動態

# ダム周辺の概況①

- ・ 金山ダムは南富良野町のほぼ中央に位置し、ダム湖の上流部は町の中心地である幾寅地区と隣接している。
- ・ ダム湖は滝川から釧路に至る国道38号と、旭川から浦川に至る国道237号に挟まれており、湖畔に道道465号が位置している。また、北海道横断自動車道の占冠IC、トナムICが近傍に位置している。

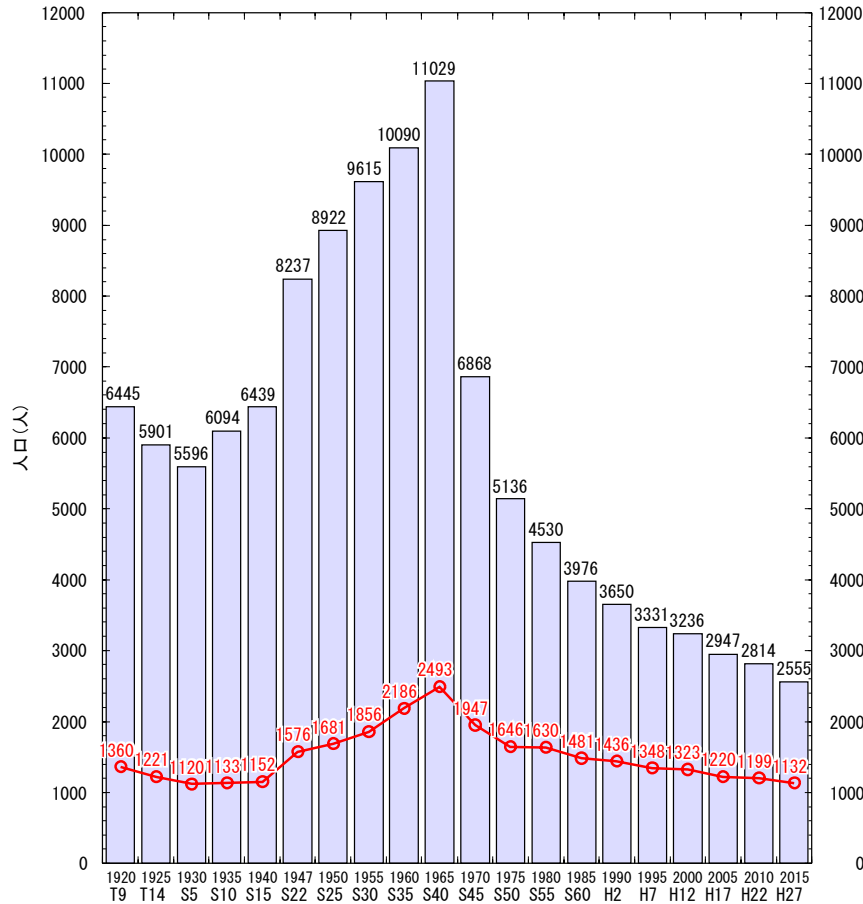


金山ダム周辺の概況

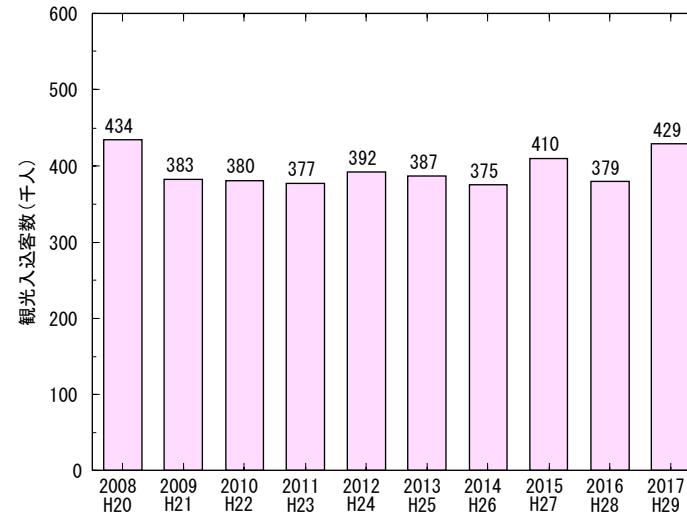
# ダム周辺の概況②

- ・南富良野町の人口は、昭和40年（1965年）以降減少しており、平成27年（2015年）の人口は、昭和40年の約4分の1となっている。
- ・南富良野町全体の観光入込客数は年間約40万人であり、同程度で推移している。

南富良野町の人口の推移(国勢調査)



南富良野町の観光入込客数の推移（北海道経済部観光局）



北海道上川総合振興局 上川管内上期観光入込客数調査報告書

**(南富良野町の観光入込客数の変化要因)**

昨年の台風等大雨被害に伴う復旧工事により、町内各施設において特需が生まれ、宿泊施設をはじめとする各施設の入込数が大きく増加した。  
 特に9月については、昨年の台風等大雨被害の影響により減少していたものが例年並みに回復したため前年に比べ大きく増加している。  
 また、7月に例年実施している「かなやま湖湖水まつり」に加え、「新・ご当地グルメグランプリ」を開催したことにより入込数が増加した。

※新・ご当地グルメグランプリ北海道2017 in南富良野は湖畔キャンプ場でかなやま湖湖水祭りと併せて開催された。



## ダム周辺の概況③

- ・平成28年8月の豪雨に伴う洪水により、南富良野町幾寅地区は福祉施設や道の駅等のほか、住家約160戸、食品加工工場が浸水するなど大きな被害を受けた。
- ・JR根室線東鹿越駅～落合駅間が平成30年現在も不通となっている。
- ・道の駅の入込客数は、浸水後数か月間に渡り大きく落ち込む影響が生じている。

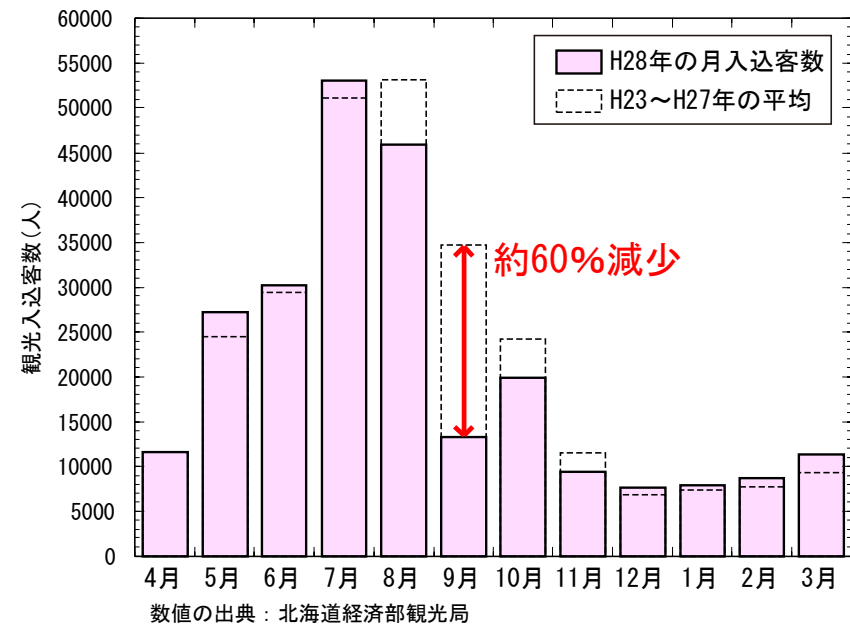
平成28(2016)年8月洪水に伴う幾寅地区の浸水状況



JR根室線の長期不通区間

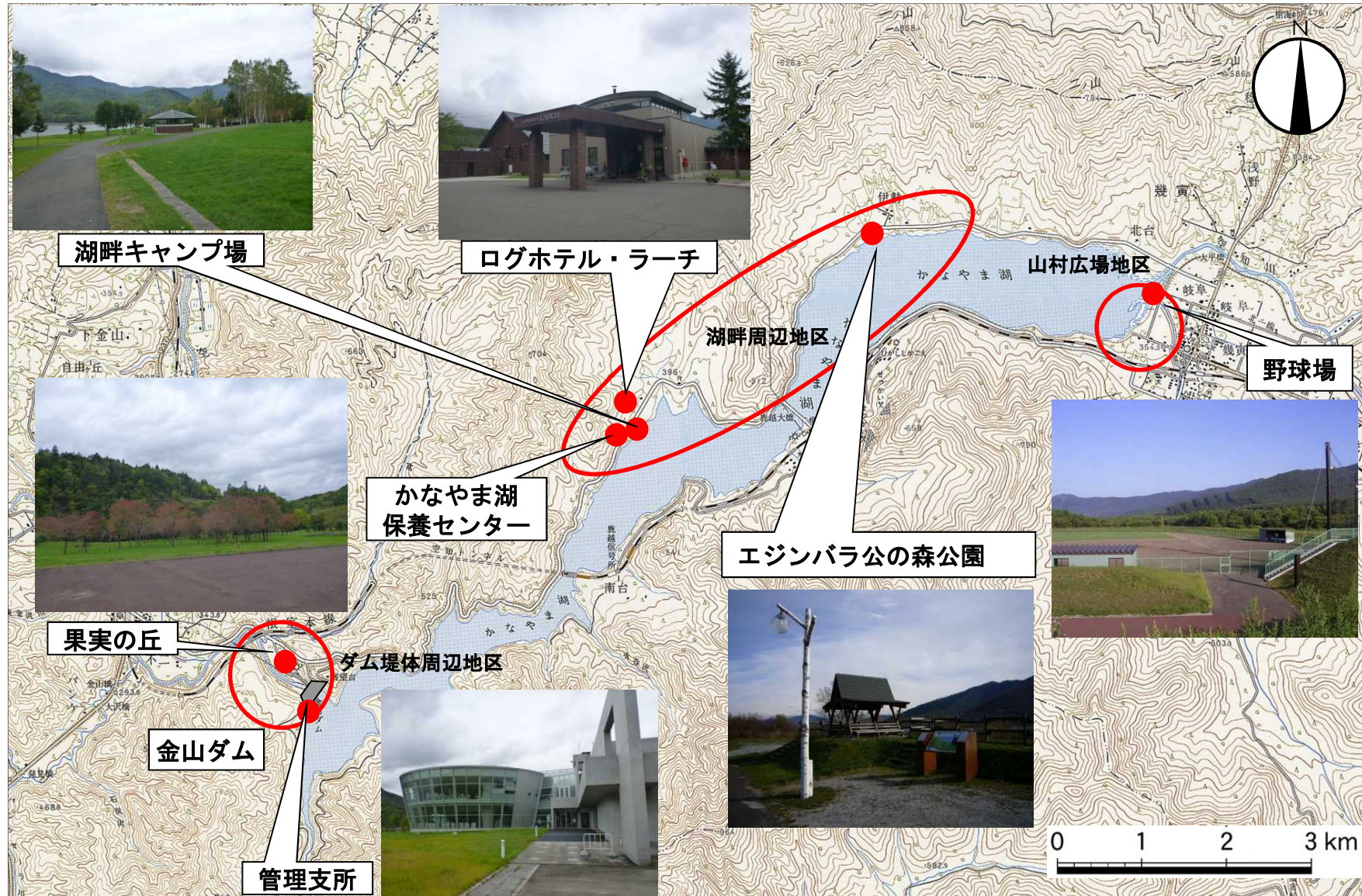


道の駅南ふらの観光入込客数の推移（平成28(2016)年度）





# ダム周辺の整備状況

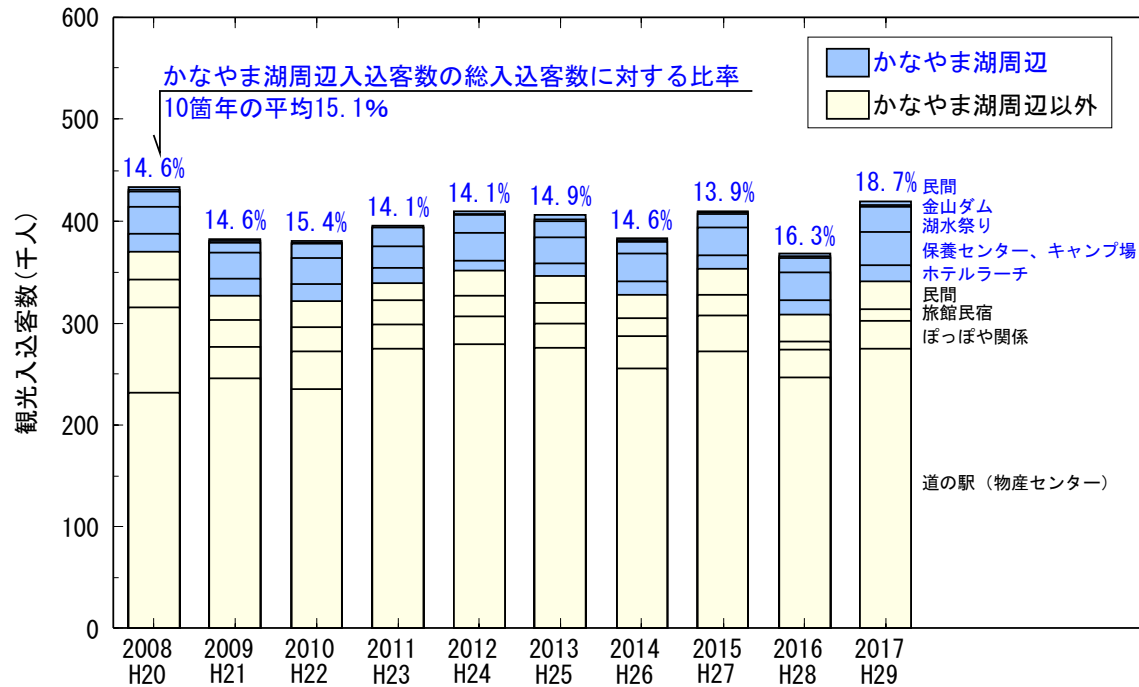




# ダム周辺の観光入込客数

- ・ 南富良野町の観光入込客数のうち、物産センターの入込客が約65%を占める。
- ・ かなやま湖周辺の施設入込客、かなやま湖の周辺施設利用、各種アクティビティの観光入込客数は南富良野町全体の観光入込客数の約15%に相当する。

南富良野町観光入込客数の内訳



出典：南富良野町観光協会調べ



# 地域とダム管理者の関わり①

金山ダムでは「かなやま湖湖水まつり」が開催されており、ダム管理者が関係機関と一体となって活動しているイベントである。「かなやま湖湖水まつり」はダム湖畔において開催され、ダム見学会、歌謡ステージ、花火大会等が行われており、来訪者が楽しみながらダムの役割や必要性を学べるよう工夫している。

## ◆主なイベント

名称	開催日	活動内容
かなやま湖湖水まつり	例年7月最終の土曜日、日曜日	ダム見学会、歌謡ステージ、花火大会等



湖水まつりパンフレット (H29(2017)年)



湖水まつり歌謡ステージ  
かなやま湖湖水祭りの参加者数

年度	参加者 (人)
H25(2013)年度	延べ15,000人
H26(2014)年度	延べ11,000人
H27(2015)年度	延べ13,000人
H28(2016)年度	延べ14,000人
H29(2017)年度	延べ25,000人



湖水祭り  
と同時に開催

※平成29(2017)年度は「新・ご当地グルメグランプリ in 南富良野」が湖水祭りと併せて開催され、参加者数が増加した。



# 地域とダム管理者の関わり②

- ・ 金山ダムは、内部に空洞を持った全国でも数少ない中空重力式コンクリートダムであり、ダム見学会やアートイベントが開催されている。
- ・ 平成29年には旅行会社の主催による公共施設見学ツアーが開催され、見学時の説明に協力している。



ダム内部の中空部

2017年公共施設見学ツアー第3弾!

道内唯一の中空重力式 当社ツアー初登場

## 金山ダムと十勝ダム

日本ダムアワード2016 ダム大賞!!

金山ダム 十勝ダム

旅行代金お1人様(大人・子供同額) **8,480円** 出発日 **9/9(土)** **日帰り**

YOB061 バスガイド無

■募集人員/30名 ■最少催行人員/20名 ■添乗員/同行 ■食事/昼食1回 ■運行バス会社/中央バス又は同等  
■集合場所/中央バス札幌ターミナル(札幌市中央区大通東1丁目/北海道四季劇場横)

**ポイント!**

- ★2017年、公共施設見学ツアーの第3弾!
- ★ダムアワード2016大賞の金山ダムを見学!!
- ★北海道開発局職員の説明・解説付で見学!
- ★星食は地元食材を使った洋食ランチコース!!

かなやま湖ホテルランチ  
森の中に佇むログ造りのレストラン。  
木の温もりを感じる癒しの空間で、地場の食材を使ったランチコースをご用意。  
※メインは牛肉のグリルとなります。  
午下が苦手な場合はお知らせ下さい。

行程表

日	集合/中央バス札幌ターミナル待合室(出発の15分前)	食事
1	札幌<8:00> 由仁SA(休憩)<約15分>	☑
日	金山ダム(監査廊・堤頂・展望台見学)<約30分>	☑
目	かなやま湖(昼食)<約60分> 十勝ダム(放流塔・監査廊・操作室見学)<約90分>	昼
	占冠PA(休憩)<約15分> 札幌<18:15頃>	☑

当ツアーは、こちらのパンフレットが最終日程表となります。 ※写真はイメージです 青字は下車観光地、赤字は入場観光地となります。

<http://www.cb-tours.com> 協力:北海道中央バス株式会社

公共施設見学ツアーのパンフレット (H29(2017)年開催)



# ダム愛好家による顕彰（日本ダムアワード）

- ・ダム愛好家が当該年のダムの洪水調節、低水管理、イベント等で最も印象に残るダムを顕彰する「日本ダムアワード2016」の選考で、金山ダムは洪水調節賞、また、各部門を代表するダム大賞を併せて受賞した。

## 日本ダムアワード2016の選考結果

**JAPAN DAM AWARD** 日本ダムアワード実施規約 選考結果 ダウンロード

2016年

日本ダムアワードについて

- 選考結果
- 2017年
- 2016年
- 2015年
- 2014年
- 2013年
- 2012年
- 日本ダムアワード実施規約
- 放流賞
- イベント賞
- 低水管理賞
- 洪水調節賞
- 臨時部門賞

ダム大賞 | **金山ダム** (北海道/国土交通省)

2016年12月18日 (日)  
東京カルチャーカルチャー (渋谷)



出典：<http://japandamaward.org/>

部門	受賞ダム
ダム大賞	金山ダム
放流賞	上椎葉ダム
イベント賞	鹿野川ダム
低水管理賞	羽鳥ダム
洪水調節賞	金山ダム
臨時部門賞	月山ダム

出典：<http://japandamaward.org/>



写真提供：日本ダムアワード選考委員会

# ダム周辺の利用状況①

ダム周辺では、7月の「かなやま湖湖水まつり」をはじめとし、湖畔を中心に自然に親しむ活動を中心としたイベントが行われており、多くの人が集う機会が提供されている。

## ◆ 金山ダムおよび周辺での主なイベント

開催日	イベント名	開催場所	イベント内容	参加人数
平成25(2013)年 7月28日～29日	かなやま湖太陽と森と湖の祭典 第42回かなやま湖湖水まつり	金山ダム湖岸	歌謡ステージ、花火大会、 ダム見学会等	延べ15,000人
平成26(2014)年 7月26日～27日	かなやま湖太陽と森と湖の祭典 第43回かなやま湖湖水まつり	金山ダム湖岸	歌謡ステージ、花火大会、 ダム見学会等	延べ11,000人
平成27(2015)年 7月25日～26日	かなやま湖太陽と森と湖の祭典 第44回かなやま湖湖水まつり	金山ダム湖岸	歌謡ステージ、花火大会、 ダム見学会等	延べ13,000人
平成28(2016)年 7月30日～31日	かなやま湖太陽と森と湖の祭典 第45回かなやま湖湖水まつり	金山ダム湖岸	歌謡ステージ、花火大会、 ダム見学会等	延べ14,000人
平成29(2017)年 7月29日～30日	かなやま湖太陽と森と湖の祭典 第46回かなやま湖湖水まつり	金山ダム湖岸	歌謡ステージ、花火大会、 ダム見学会等	延べ25,000人



湖水まつり



ワカサギ釣り



# ダム周辺の利用状況②

かなやま湖畔では、「水源の森創造交流会」、「日本ハムファイターズとの植樹祭」、「フォレストタウン記念植樹祭」の植樹祭が実施されており、平成29年度は合計で113人が参加している。

## ◆かなやま湖周辺の植樹祭参加状況



開催年	水源の森 創造交流会	日本ハムフ ィターズとの 植樹祭	フォレストタウン 記念植樹祭	合 計
H20 (2008)	94人	79人	33人	206人
H21 (2009)	50人	60人	57人	167人
H22 (2010)	67人	64人	63人	194人
H23 (2011)	42人	68人	40人	150人
H24 (2012)	42人	75人	54人	171人
H25 (2013)	32人	65人	66人	163人
H26 (2014)	32人	58人	53人	143人
H27 (2015)	40人	—	96人	136人
H28 (2016)	—	—	—	—
H29 (2017)	42人	—	71人	113人

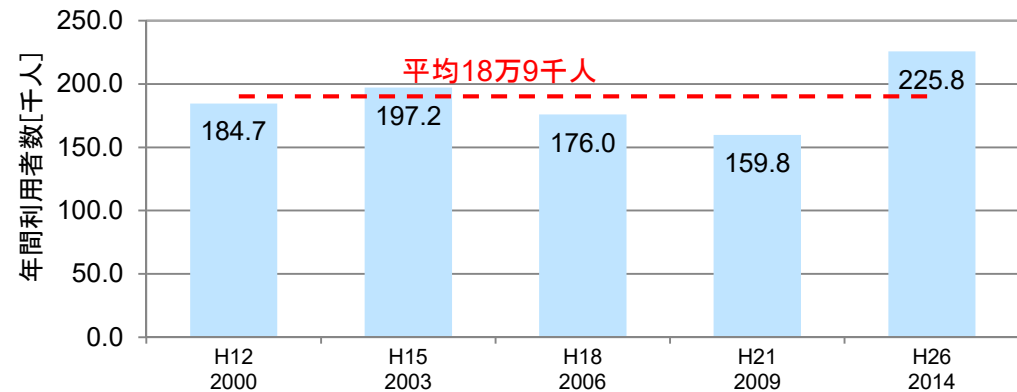
※「—」はイベント未開催（H28は災害により中止）

# ダム周辺の利用状況③

## 平成26年度「河川水辺の国勢調査（ダム湖利用実態調査）」の結果

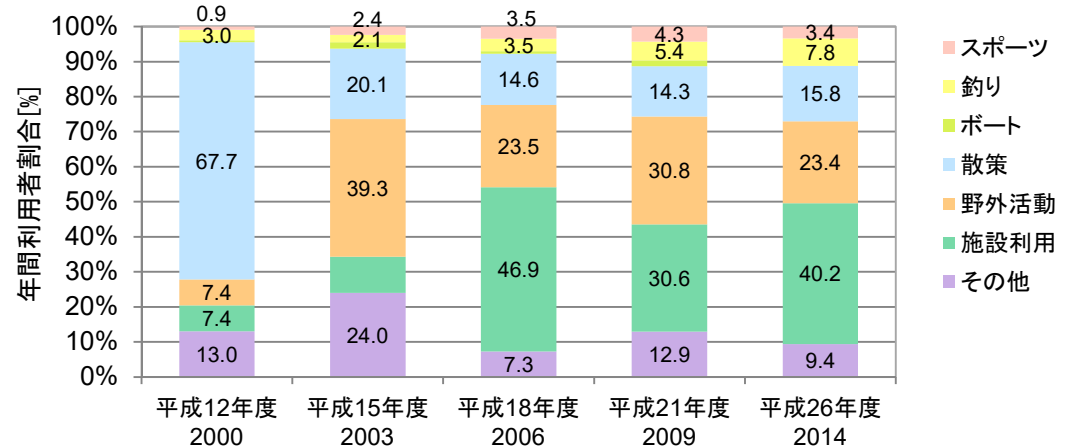
- 平成26年度の年間利用者数は約22万6千人となっており、平成21年度の約16万人に比べると約6万6千人増加している。
- 平成12年度～平成26年度の平均は約18万9千人となっている。
- 利用形態は、「施設利用」、「野外活動」が主な利用となっており、次いで「散策」となっている。

年間利用者数（総数）



※H12及びH15の値は河川水辺の国勢調査公表値の補正を行っている。

年間利用者数（利用別内訳）



ダム湖利用実態調査は、年間7日間(春季3日、夏季2日、秋季1日、冬季1日)実施し、各調査日の利用者実測数を用いて年間利用者数を推計している。

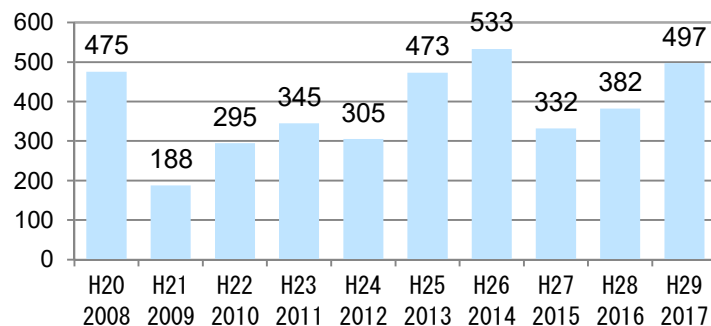
散策や立ち寄り、休憩など、施設利用に表れない来訪者も含め、ダム湖周辺全体の利用者数の経年的な傾向を把握することを目的として、全国同一の方法で調査・推計が行われている。



# ダム周辺の利用状況④

- ・金山ダムでは、イベントとして、「ダム見学会」、「公共施設見学ツアー」などが行われている。「ダム見学会」では、ダム操作室やダム本体内部等の見学を行っている。
- ・平成29年（2017年）には民間バス会社による公共施設見学ツアーが実施され36名が訪れた。金山ダムはダム内での見学に協力した。
- ・「ダムカード」を作成し、管理支所で配布しており、毎年増加傾向にある。

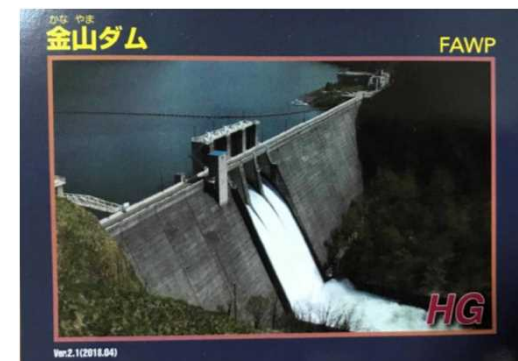
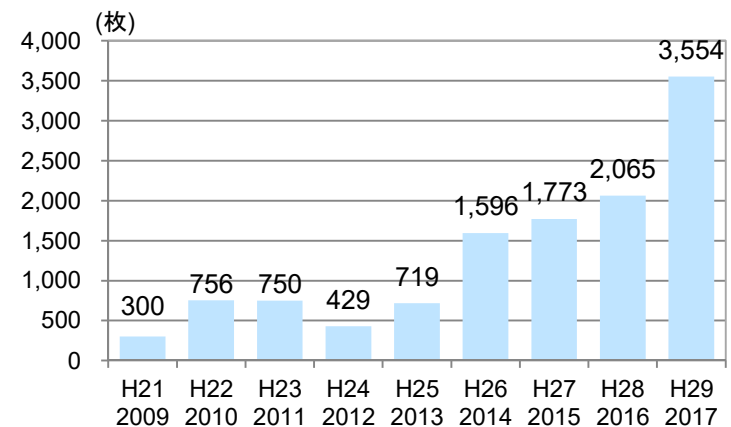
金山ダム見学者数の推移



※上記の人数は、管理支所の職員が案内した金山ダム見学会の参加者数である。



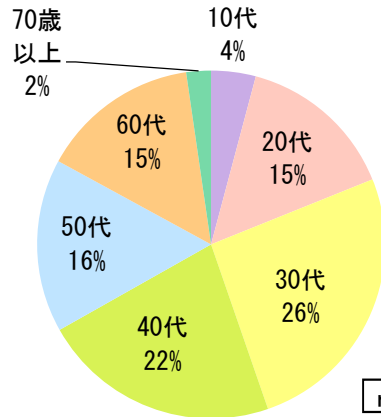
ダムカード配布枚数



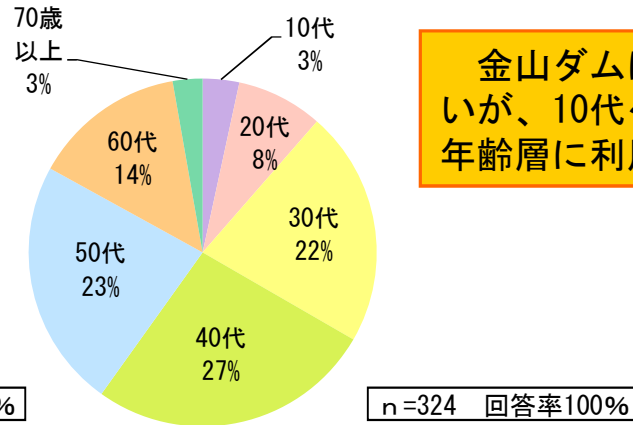
ダムカード

# 利用者の属性(アンケート調査の結果)①

調査対象者の年齢  
H21 (2009)



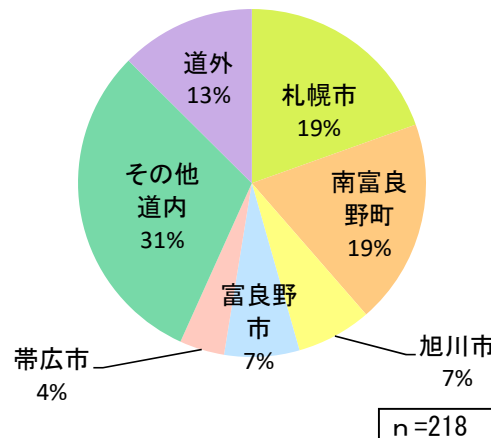
調査対象者の年齢  
H26 (2014)



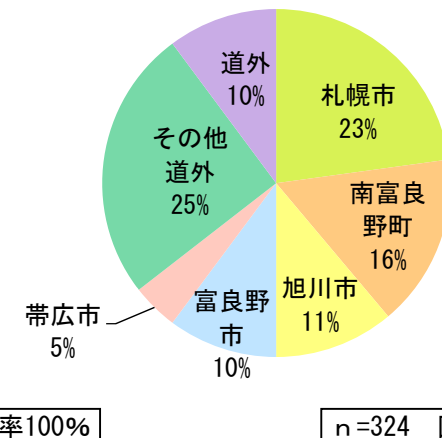
金山ダムは40代の利用が最も多いが、10代~70歳以上まで幅広い年齢層に利用されている。

金山ダムの平成26年の来訪者は、札幌市(23%)、南富良野町(16%)が多く、次いで旭川市(11%)、富良野市(10%)となっている。

調査対象者の居住地  
H21 (2009)



調査対象者の居住地  
H26 (2014)



(資料：平成21年度、平成26年度「河川水辺の国勢調査(ダム湖利用実態調査)」利用者アンケート結果より)

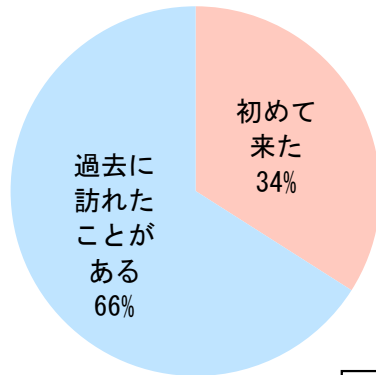


# 利用者の属性(アンケート調査の結果)②

リピーター（「過去に来たことがある」と回答した人）は、平成21年は66%、平成26年は56%となっており、金山ダムの利用者の6~7割以上がリピーターである。

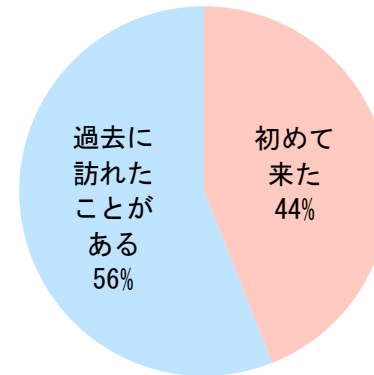
＜設問＞金山ダムにははじめてお越しですか？

H21 (2009)



n=218 回答率100%

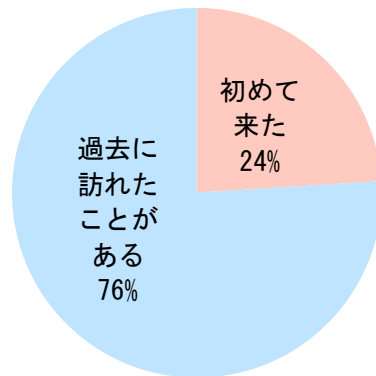
H26 (2014)



n=324 回答率100%

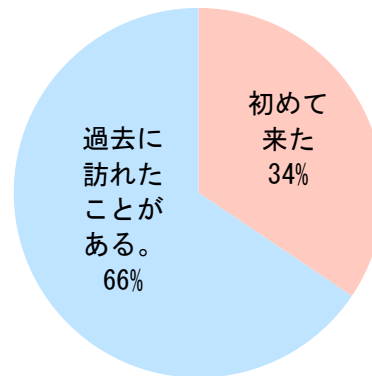
【参考：他ダムの結果 H26(2014)年】

滝里ダム



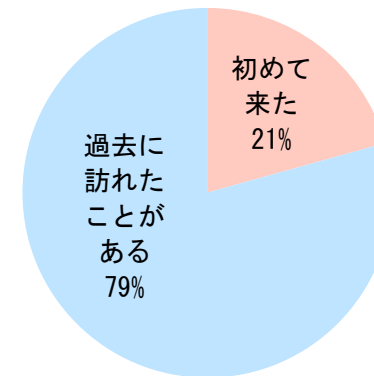
n=142 回答率100%

札内川ダム



n=61 回答率100%

大雪ダム



n=298 回答率100%

(資料：平成21年度、平成26年度「河川水辺の国勢調査(ダム湖利用実態調査)」利用者アンケート結果より)

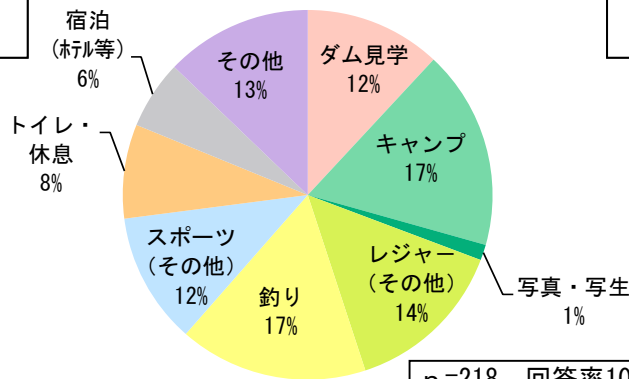
# 利用者の属性(アンケート調査の結果) ③

ダム利用者の目的は様々であるが、平成21年、平成26年のいずれも「ダム見学」、「キャンプ」、「釣り」の利用が多くなっている。季別の利用状況を次頁に示す。

## <設問>金山ダムに来た目的は？

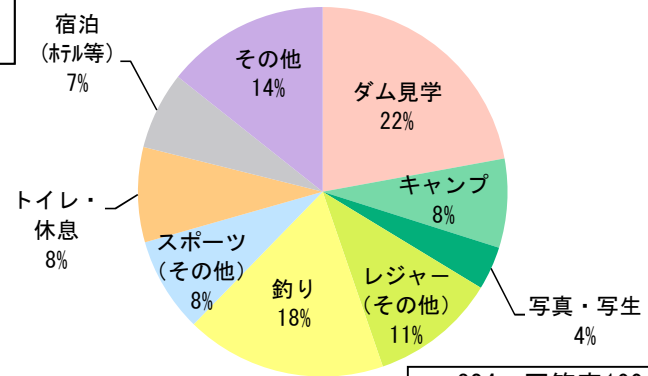
※利用者アンケート対象者数 H21：218人、H26：324人  
※複数回答となっているため、調査対象者数と回答数が異なる。

H21 (2009)  
通年



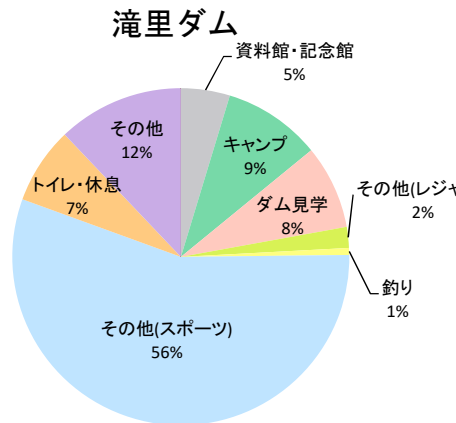
n=218 回答率100%

H26 (2014)  
通年

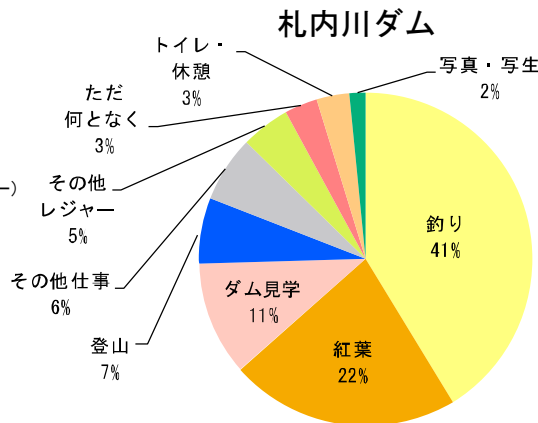


n=324 回答率100%

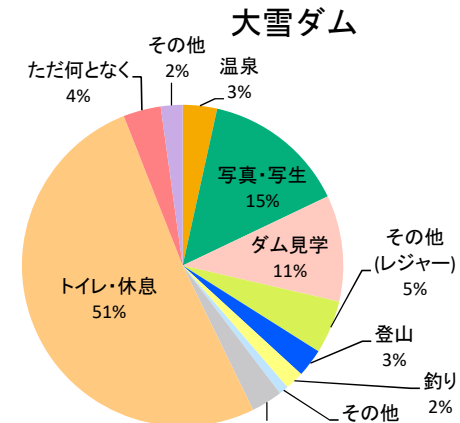
【参考：他ダムの結果 H26(2014)年】



n=142 回答率100%



n=61 回答率100%



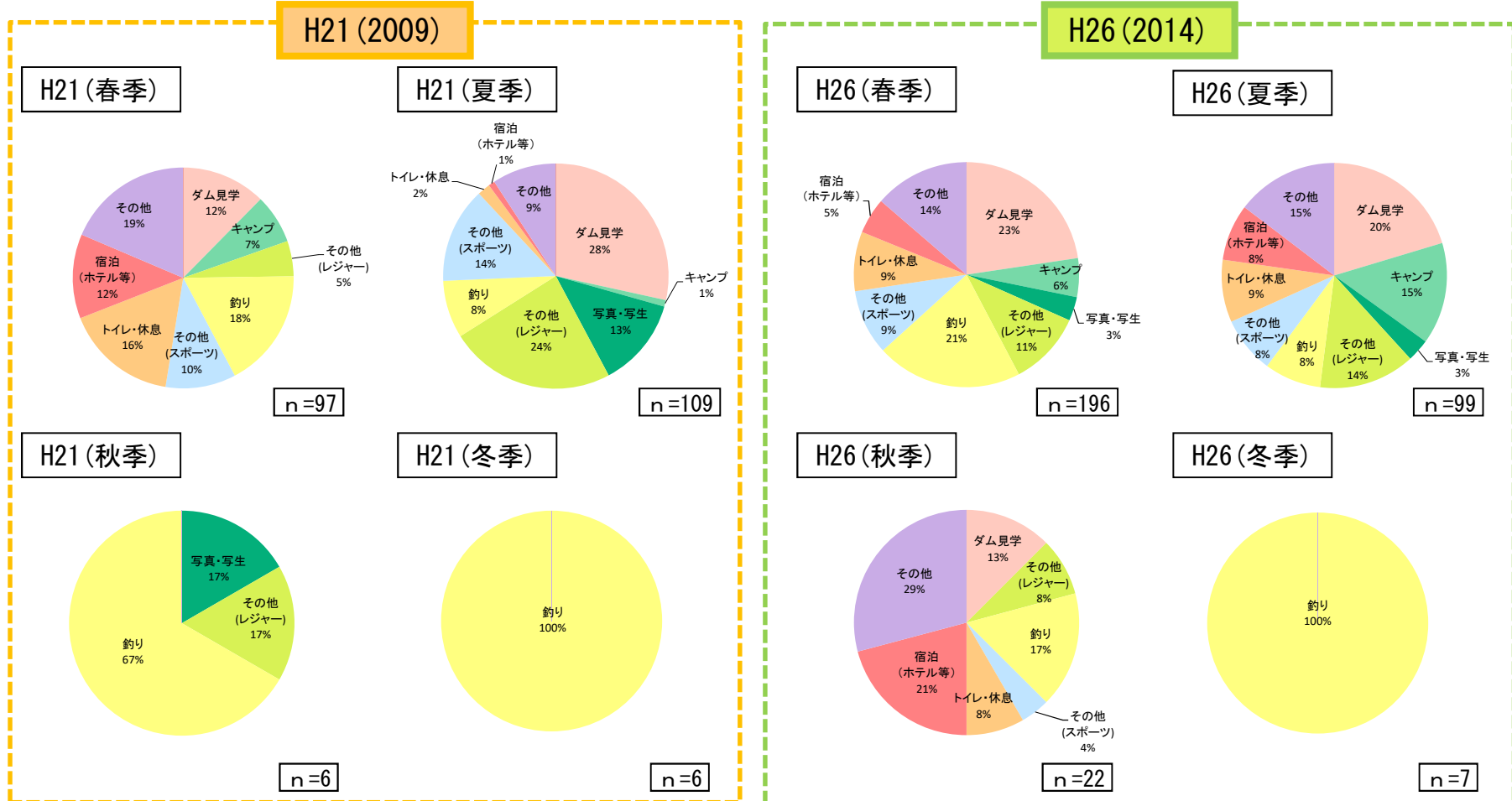
n=298 回答率100%

(資料：平成21年度、平成26年度「河川水辺の国勢調査(ダム湖利用実態調査)」利用者アンケート結果より)

# 利用者の属性(アンケート調査の結果)④

- ・ H21とH26とで、ダムに来た目的を季別に整理した結果、春季と夏季はほぼ同じ傾向である。
- ・ 秋季については、変動が大きく見えるがH21のサンプル数は6票と少ないため、単純に比較できない。
- ・ 冬季は両年とも釣り（ワカサギ釣り）が100%である。

## ＜設問＞金山ダムに来た目的は？



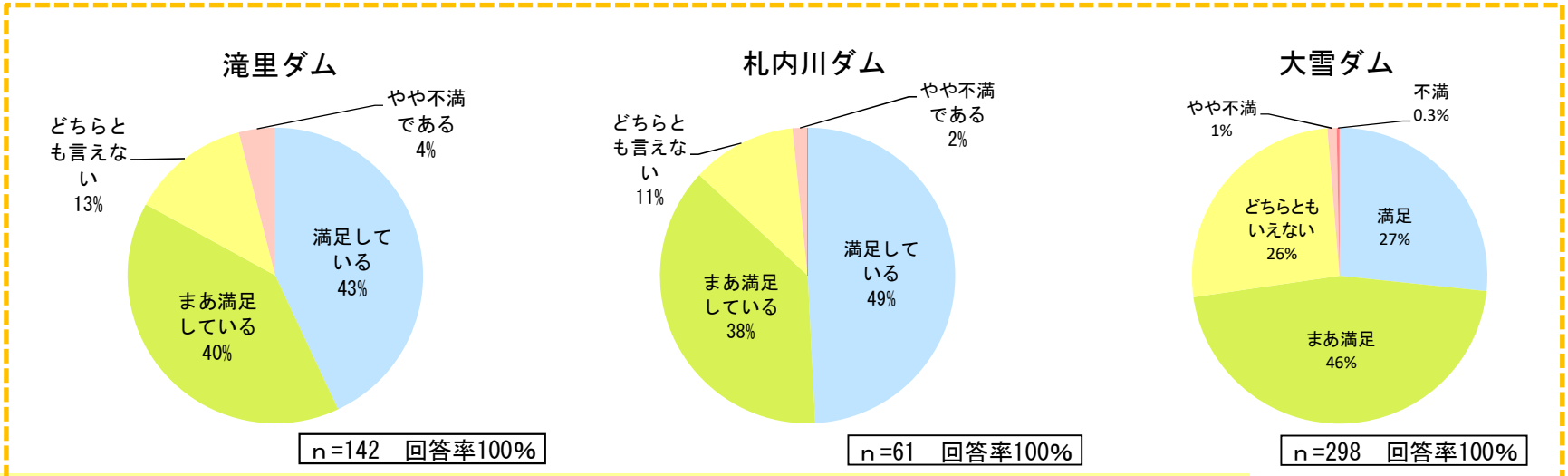
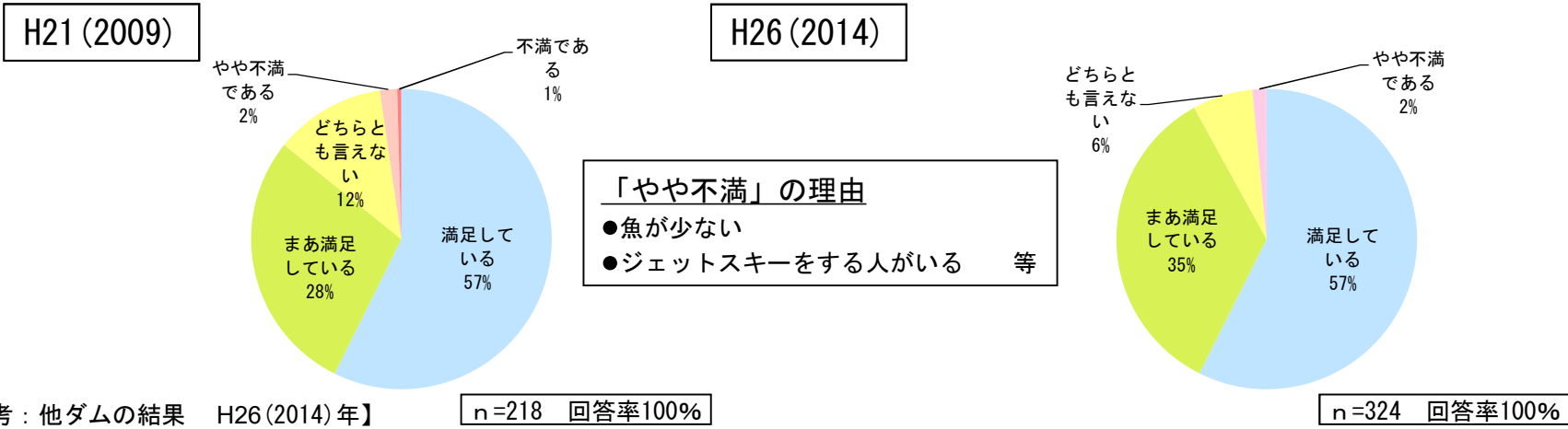
(資料：平成21年度、平成26年度「河川水辺の国勢調査(ダム湖利用実態調査)」利用者アンケート結果より)



# 利用者の満足度（アンケート調査の結果）

金山ダムを利用した感想を聞いた結果、平成21年は「満足」「まあ満足」合わせて約85%であり、平成26年は約92%と利用者の満足度は高い。

## ＜設問＞金山ダムを利用した感想は？



(資料：平成21年度、平成26年度「河川水辺の国勢調査（ダム湖利用実態調査）」利用者アンケート結果より)

## ◆水源地域動態のまとめ

項目	まとめ
地域の交流・連携等	●金山ダムは、ダム湖周辺に広がる豊かな自然環境を活用し、キャンプ場や公園等の自然体験や地域の憩いの場、交流の場を提供している。
情報発信・学習の場等	●金山ダムではホームページやパンフレットの他、湖水まつりやダム見学会を実施しており、ダムの役割を理解してもらう取り組みに努めている。 ●利用者のダム湖利用の目的として「野外活動」、「施設利用」があげられており、周辺施設を含め、広域的に利用されている。
利用状況	●南富良野町の観光において、金山ダム及びダム貯水池は重要な拠点となっている。 ●平成26年（2014年）の年間利用者数（推計値）は約22万6千人であり、「野外活動」及び「施設利用」による利用が多くみられる。 ●平成28年（2016年）の洪水に伴い、道の駅「南ふらの」の観光入込客数が一時的に減少する影響が生じた。

## ◆今後の方針

項目	まとめ
地域との係わり	●地域の観光振興への協力を継続する。 ●教育や学習の場としてダム湖周辺を活用するとともに、利用者のニーズを把握し、より一層、活動内容に反映していくよう努める。
利用実態調査	●今後も利用形態のアンケート調査を継続的に実施する。
今後の維持管理の留意事項	●快適な施設利用ができるよう維持管理を行っていく。
その他	●南富良野町や周辺自治体の観光協会との連携を継続していく。